

2023年度環境経営レポート

(建設業者向けガイドライン2017年版に基づく)

(2023年4月～2024年3月)



株式会社TBテクノグリーン

〒473-0902 愛知県豊田市大林町8丁目54番地

発行日：2024年9月13日
改訂日：2024年10月28日

目 次

1. 組織の概要	
(1)事業者名及び代表者名-----	3
(2)所在地 -----	3
(3)事業の概要 -----	3
(4)事業活動の規模 -----	3
(5)環境管理責任者及び担当者 -----	3
(6)建設業の法規に関する有資格技術者 -----	3
2. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日 -----	3
3. 環境経営方針 -----	4
4. 実施体制 -----	5
5. 中長期環境経営目標設定の考え方 -----	6
6. 環境経営年度目標 -----	7
7. 環境経営計画 -----	8
8. 環境計画に基づき実施した取り組み内容 -----	9
9. 環境経営年度目標の実績 -----	10
10. 環境経営計画の取組結果とその評価 -----	11
11. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画 -----	12
12. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟などの有無-	12
13. 代表者による全体評価と見直し・指示 -----	13

1. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

株式会社TBテクノグリーン
代表取締役社長 小川 雅司

(2) 所在地

- ・本社:愛知県豊田市大林町8丁目54番地
- ・堤資材置場:愛知県豊田市堤町伊勢堤17番地1



(3) 事業の概要

- ①建築一式工事業②管工事業③電気工事業
- ④土木一式工事業⑤造園工事業⑥消防施設工事業

・建設業許可

特定建設業

愛知県知事許可(特-28) 第28828号 許可 2022年3月23日 有効 2027年3月22日
土木、建築、大工、とび・土工、屋根、電気、管、鋼構造物、舗装、板金、
塗装、防水、内装仕上、造園、 タイル・れんが・ブロックの各工事業
愛知県知事許可(特-30) 第28828号 許可 2022年3月23日 有効 2027年3月22日
解体工事業

一般建設業

愛知県知事許可(般-28) 第28828号 許可 2022年3月23日 有効 2027年3月22日
消防施設工事業
愛知県知事許可(般-28) 第28828号 許可 2022年3月23日 有効 2027年3月22日
機械器具設置工事業、さく井工事業

・産業廃棄物収集運搬業 愛知県許可番号 第02300167790号 許可 2022年7月12日 有効 2027年7月11日
(但し、自社以外の実績無し)

(4) 事業活動の規模

従業員数	27人
会計年度	4月～3月
売上高	2,772百万円

(5) 環境管理責任者及び担当者

責任者 取締役 樹神 義和 ('24年4月1日より新任)
担当者 総務・環境G 村上 晃久

(6) 建設業の法規に関する有資格技術者

一級建築士	3名	一級土木施工管理技士	4名
一級建築施工管理技士	6名	一級電気工事施工管理技士	2名
一級管工事施工管理技士	5名	一級造園施工管理技士	2名

2. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日

対象組織: 本社、堤資材置場

対象活動: 建築一式工事業、管工事業、電気工事業
土木一式工事業、造園工事業、消防施設工事業

レポート対象期間: 2023年4月1日～2024年3月31日

レポート発行日(改訂日): 2024年9月13日(2024年 10月28日)

3. 環境経営方針

環境経営方針

1. 基本理念

株式会社TBテクノグリーンは、建設業としての事業活動の根幹が、環境と深く関連していることを認識し、環境汚染の予防ならびに環境負荷低減に努め、地球環境の保全と社会への貢献を目指した環境活動を展開する。

2. 環境経営方針

株式会社TBテクノグリーンは、「基本理念」の実現のために、当社の事業活動を通じて、自主的に環境改善活動を推進する。

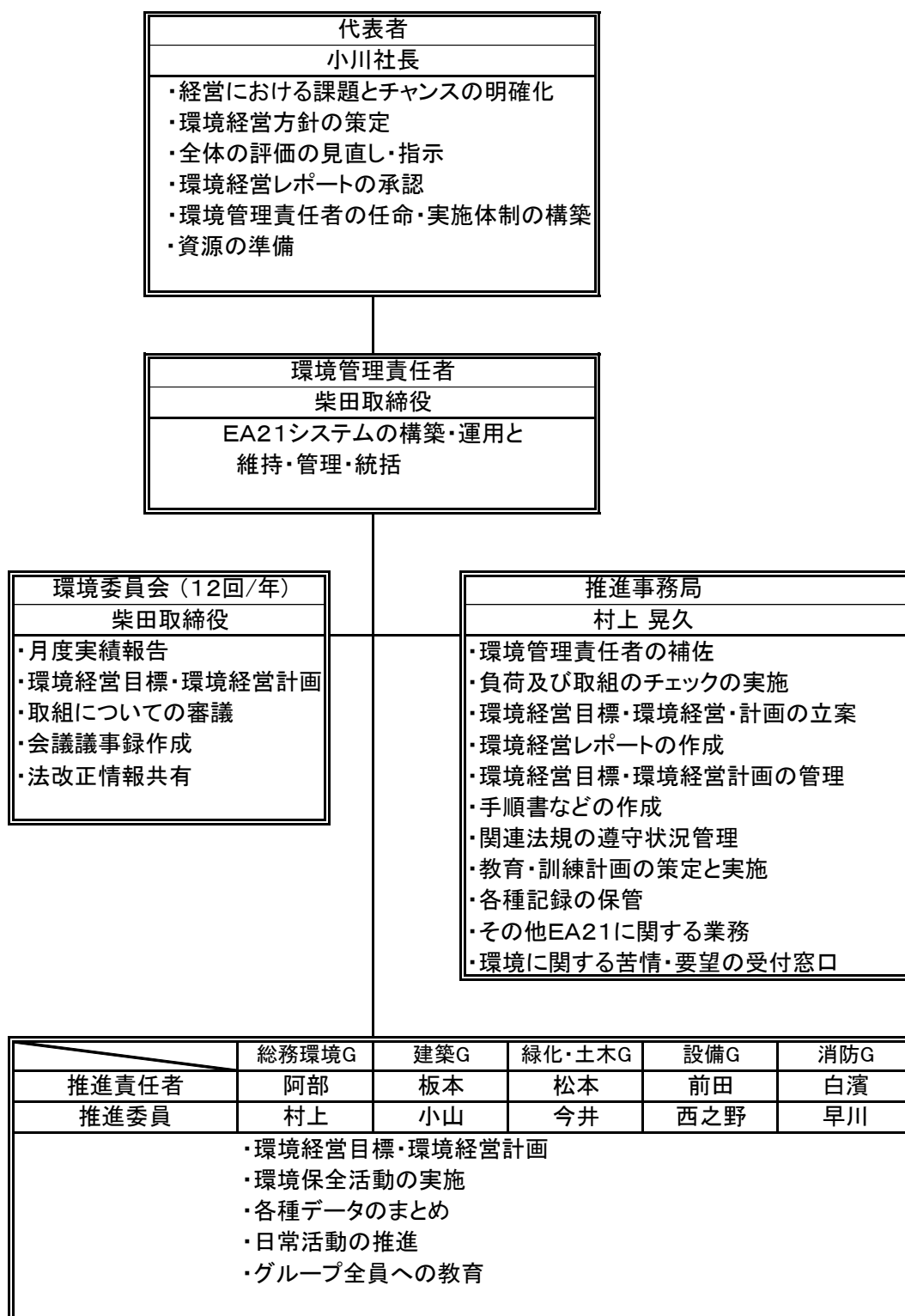
- (1) 環境管理推進のための体制を組織し、環境の負荷を軽減するため、適切な取組みを行い、環境マネジメントシステムを継続的に改善する。
- (2) 環境に関する法規制、地域との協定、業界規範を遵守し、また顧客の環境に関する要望を反映し、汚染の予防に努める。
- (3) 事業活動による環境への影響を的確に把握し、地域・地球環境を守るため、次の項目の環境経営目標を設定し、継続的改善に努める。
 - ① 二酸化炭素の排出量の削減
 - ② 水資源の有効活用のため節水
 - ③ 一般廃棄物、産業廃棄物の発生抑制、削減、リサイクルの促進
 - ④ 工事現場での騒音、振動、濁水等、現場周辺環境への配慮
 - ⑤ グリーン購入の促進
 - ⑥ 化学物質の使用量削減・環境への配慮
 - ⑦ 地域への環境保全活動
- (4) 本方針に基づいて、積極的に環境教育を行い、環境を大切にする従業員を育成する。
- (5) 本方針は、全従業員および当社の協力事業者に対し周知するとともに社外公開する。

改定日 2023年6月2日

株式会社 TBテクノグリーン

代表取締役社長
小川 雅司

4. 実施体制



承認者：小川 雅司

5. 中長期環境経営目標設定の考え方

1) 環境経営目標設定の考え方の変化

【2009年度～2012年度】

2008年度を基準年度として目標値を設定し推進

【2013年度～2015年度】

前年度実績の3%減を目標値とするよう環境目標の考え方を変更

理由 { 2012年度は堤事業所の閉鎖など会社業態が大きく変化し、事業環境も大きく変わり売上3割増になったため }

【2016年度～】

ハード面の環境対策が一巡したこともあり、年度目標は前年度実績の2%減とした。

但し、未達の場合は、前年度目標の再チャレンジ

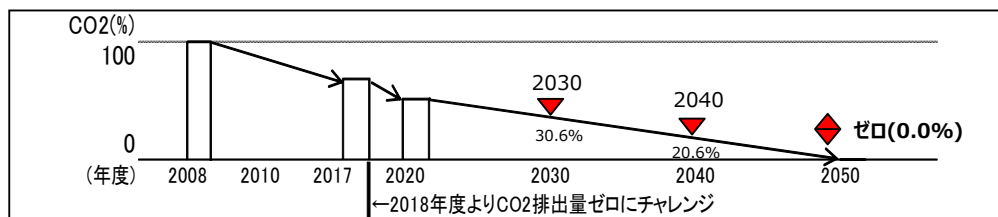
【2019年度～】(ガイドライン2017年版に基づく)

基準値設定の考え方

実態を反映させたものとする為、過去3年間の実績平均を基準値とする。

2) 中長期目標の設定

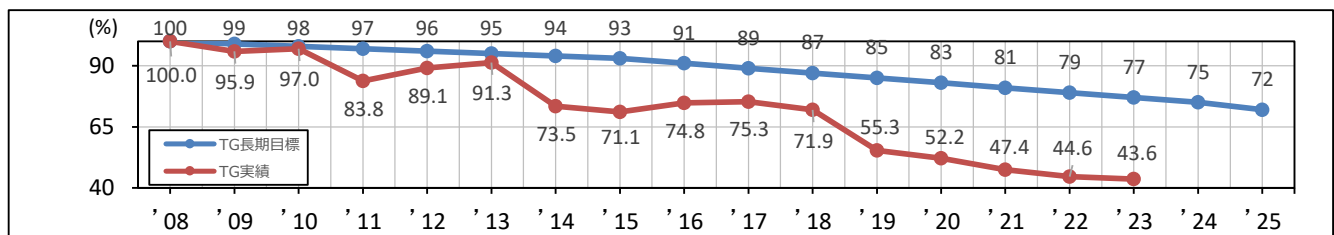
『当社は、エコアクション21の2050年目標CO2排出量ゼロにチャレンジ』に沿って、基準年(2008年度)を基にした中長期目標を立案し取り組みます。』



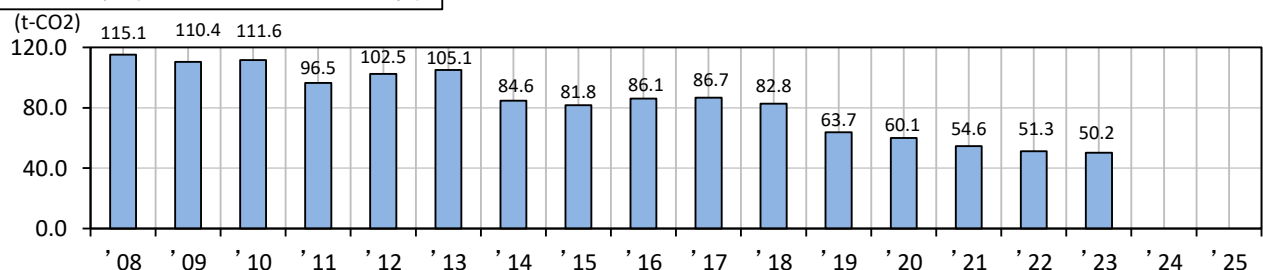
■マイルストーン(2008年度比) 2025年 40.6% ⇒ 2030年 30.6% ⇒ 2040年 20.6%

3) CO2排出目標値(%)と実績(%)値の推移

※電力のCO2排出係数 2017年迄 0.474⇒2018年以降0.426kg-CO2/kWh
※軽油のCO2排出係数 2017年迄 2.62 ⇒ 2018年以降 2.58kg-CO2/L



t-CO2の実績値(2008～2023年度)



4) 2050年度CO2排出量ゼロに向けた2025年度環境経営取り組みプラン

着眼：売上が多い年は必然的に業務用車での移動が多くなる為、CO2排出量ゼロの達成に向けて、ガソリン車(17台)をHVへの切替を計画的に更新中

<主な取り組み>

- ・事業場：太陽光発電の2018年度増設「既設の約2倍(6.6kw/h)」
- ・現場：業務用車のハイブリッド化移行「2023年6月時点10台/17台」

6. 環境経営年度目標

・2018年度以降 TG目標値設定の考え方は、下記TBグループの目標設定に合せる。

基準2008年度 実績100%とし直近過去3年平均のCO2排出量:▲2%、廃棄物量:▲1%、水使用量:▲0.5%とする。
(ガス(LPG)の使用量は、全体の0.02%以下で2018年度以降使用廃止の為、除外しました。)

・2023年度以降 基準値設定の考え方

※2008年度のCO2総量に関しては親会社の環境ビジョンに基づき掲載しています、2018年度以降の数値に関しては中部電力ミライズの調整後排出係数(0.426kg-CO2/kWh)を使用しています。

(1) 二酸化炭素排出量の削減

取組項目	基準年度 2008年度 実績	実 績			単年目標	中期目標		
		2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	直近過去3年平均 2023年度	2024年度	2025年度	
実績	基準100%比	52.2%	47.2%	44.6%	47.0%	46.6%	46.1%	
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	115,142	60,054	54,378	51,368	二酸化炭素排出量▲2% kg-CO2	二酸化炭素排出量▲3% kg-CO2	二酸化炭素排出量▲4% kg-CO2	
		直近過去3年平均⇒	55,267	48.0%	54,161	53,609	53,056	
電力(kwh・% (係数0.426)	75,512 (係数0.474)	25,109	26,530	26,217	電力使用量▲2% (kwh・%)	電力使用量▲3% (kwh・%)	電力使用量▲4% (kwh・%)	
		直近過去3年平均⇒	25,952	34.4%	25,433	25,173	24,914	
ガソリン(ℓ・% (係数2.32)	27,096 (係数2.32)	20,719	18,215	16,848	ガソリン使用量▲2% (ℓ・%)	ガソリン使用量▲3% (ℓ・%)	ガソリン使用量▲4% (ℓ・%)	
		直近過去3年平均⇒	18,594	68.6%	18,222	18,036	17,850	
軽油(ℓ・% (係数2.58)	6,293 (係数2.62)	500	317	431	軽油使用量▲2% (ℓ・%)	軽油使用量▲3% (ℓ・%)	軽油使用量▲4% (ℓ・%)	
		直近過去3年平均⇒	416	6.6%	408	403	399	

(2) 水使用量の削減

取組項目	基準年度 2008年度 実績	実 績			単年目標	中期目標	
		2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	直近過去3年平均 2023年度	2024年度	2025年度
水道使用量 (m3)	492.6	178.0	124.0	126.0	水道使用量▲0.5% (m3) 142.0	水道使用量▲1.0% (m3) 141.2	水道使用量▲1.5% (m3) 140.5
		直近過去3年平均⇒	142.7	29.0%			

(3) 廃棄物排出量の削減

取組項目	基準年度 2008年度 基準100%比	実 績			単年目標	中期目標	
		2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	直近過去3年平 2023年度	2024年度	2025年度
一般廃棄物 (t)	1.33	0.82	0.76	0.43	一般廃棄物▲1% (t) 0.66	一般廃棄物▲1% (t) 0.66	一般廃棄物▲1% (t) 0.66
		直近過去3年平均⇒ 0.67					
産業廃棄物 (t)	2818.4	2,069.0	1,266.3	1,024.0	産業廃棄物▲1% (t) 1438.6	産業廃棄物▲1% (t) 1,438.6	産業廃棄物▲1% (t) 1,438.6
		直近過去3年平均⇒ 1,453.1 51.6%					

(4) 工事現場での騒音、振動、濁水等、現場周辺環境への配慮

取組項目	基準年度 2008年度 実績	実 績			単年目標	中期目標	
		2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度	2024年度	2025年度
外部からの苦情 (件数)	0	0	0	0	外部からの苦情 (件数) 0	外部からの苦情 (件数) 0	外部からの苦情 (件数) 0
		直近過去3年平均⇒	0				

(5) グリーン購入の促進

取組項目	基準年度 2008年度 実績	実 績			単年目標	中期目標	
		2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度	2024年度	2025年度
リサイクル用紙の購入 (t)	データなし	1.12	0.69	0.52	リサイクル用紙の購入▲1% (t) 0.77	リサイクル用紙の購入▲2% (t) 0.76	リサイクル用紙の購入▲3% (t) 0.75
		直近過去3年平均⇒	0.78				

(6) 化学物質保管方法の法令遵守

取組項目	基準年度 2008年度 実績	実 績			単年目標	中期目標	
		2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度	2024年度	2025年度
農業・除草剤在庫管理 差異率(%)	データなし	0	0.0	0.0	(差異率) 0.0%	(差異率) 0.0%	(差異率) 0.0%
		直近過去3年平均⇒	0.0%				

(7) 地域への環境保全活動

取組項目	基準年度 2008年度 実績	実 績			単年目標	中期目標	
		2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度	2024年度	2025年度
会社周辺清掃活動	1回/週	毎週金曜日	毎週金曜日	参加率100%	毎週金曜日	毎週金曜日	毎週金曜日

※コロナ禍による特別処置

7. 環境経営計画

本環境経営レポートの対象期間は、下記の通りとします。

2023年4月1日～2024年3月31日

事業所	現場	担当部署
二酸化炭素 1) エアコンの設定温度 ・室温(冷房28℃、暖房20℃)告示チェック ・使用時間の設定(AM7:00～PM7:00) 2) 電灯の適正使用 ① 節電啓発表示 ② 不必要な箇所の電灯を徹底消灯 ③ トイレの電気消し忘れ防止センサー設置 ④ 家電更新時の省エネ機器選定 3) 帰宅・長時間離席時はパソコンの電源OFF 4) エコドライブの推進 5) ガス(LPG)の廃止(2019. 3.30) 太陽光発電の増設に伴いLPG給湯の電氣化	1) エコドライブの推進 ① 不要なアイドリング禁止 ② タイヤ空気圧の基準圧チェック ③ 不要な荷物は積まない ④ 暖機運転は適切に行う ⑤ 急発進、急加速はやめる ⑥ 車間距離は余裕をもって急ブレーキをなくす ⑦ エンジンブレーキを積極的に使う ⑧ 燃費管理表による省エネの意識付け(2015.1～) ⑨ 走行距離短縮として直行直帰を励行(2018.10～)	全部署
水使用 1) 水使用量の削減 ・マイ水筒を持参する。 ・漏水確認を検針時に実施(1回/6ヶ月) 2) 水節約の励行 ・節水啓発表示 ・将来的に雨水の利用を検討	1) 水使用量の削減 ・水道の蛇口をしっかり閉める。 ・ ” ” からの吐水量調整	全部署
廃棄物 1) 一般ゴミの削減 2) 種類別に分別し、置き場所を決める。 3) 私物ゴミの持ち帰りを徹底する。	1) 種類別に分別し、置き場所を決める。 2) 発注、寸法切断時に残材が最小に済むよう徹底	全部署
リサイクル 1) ダンボール・雑誌等紙類のリサイクル化 ・ダンボールの分別 ・機密書類のシュレッダー化 2) 3R(Reduce・Reuse・Recycle)活動推進 3) 裏紙利用の促進	1) 【新規】アスベスト専用コンテナの設置 ・石綿障害予防規則等の一部改正によるコンプライアンス強化 「アスベスト(レベル3)保管数量管理の徹底」 2) 3R(Reduce・Reuse・Recycle)活動推進 ・ゴミを減らす・繰り返し使う・再利用	全部署
環境配慮 騒音、振動、濁水、現場周辺環境配慮 (Meetingチェック/週1回)	騒音、振動、濁水、現場周辺環境配慮(1回/週) ・工事施工の環境配慮確認 ・工事現場周辺への環境配慮確認 ・材料等運搬時の飛散防止対策の徹底	全部署
購入 1) グリーン購入 紙類はリサイクル用紙を購入 2) ペーパーレス化	環境に配慮商品を優先的に購入する 材料の購入推進 ・業務用車運行管理表の電子化(紙→電子) ・電子マニフェストの導入	全部署
化学物質 化学物質の保管方法・法令遵守	農薬・除草剤使用量の把握及び在庫管理の徹底	事業部
地域貢献 会社周辺ゴミ「ゼロ」活動	頻度2回/月(※1)・参加者26名 エリア：会社周辺・GLC・エディオン・しまむら駐車場 (※1) コロナ禍により、頻度暫定処置	全部署

2023年度 TBテクノロジー 環境マネジメントプログラム

*2. 中電の排出係数0.426kg-CO2/kWhへ変更

日期	记录号	记录内容	备注
	1		

管理責任者	推進責任者	推進者
		

9

9. 環境経営年度目標の実績

＜環境負荷の実績 取組期間：2023年4月1日～2024年3月31日＞

- (1) 二酸化炭素排出量の削減 評価： ○ 目標達成 △やや目標未達(5%以下)
× 目標未達(5%超)

取組み項目	2023年度目標	2023年度実績	低減率	評価
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	54,161	50,207	7.3%	○
電力 (kwh)	25,433	16,644	34.6%	○
ガソリン (ℓ)	18,222	18,138	0.5%	○
軽油 (ℓ)	408	402	1.3%	○

- (2) 水使用量の削減

取組み項目	2023年度目標	2023年度実績	低減率	評価
水道使用量 (m3)	142.0	109.0	23.2%	○

- (3) 廃棄物排出量の削減

取組み項目	2023年度目標	2023年度実績	低減率	評価
一般廃棄物 (t)	0.66	0.45	32.0%	○
産業廃棄物 (t)	1,453.1	1024.0	29.5%	○

- (4) 工事現場での騒音、振動、濁水等、現場周辺環境への配慮

取組み項目	2023年度目標	2023年度実績	達成率	評価
外部からの苦情 (件数)	0	0	100.0%	○

- (5) 購入 ペーパーレス化の推進

取組み項目	2023年度目標	2023年度実績	低減率	評価
コピー用紙のグリーン重量(t)	0.77	0.43	43.6%	○

- (6) 化学物質の保管方法・法令遵守

取組み項目	2023年度目標	2023年度実績	達成率	評価
農薬・除草剤 在庫管理差異率(%)	0.0%	0.0%	100.0%	○

- (7) 地域への環境保全活動

取組み項目	2023年度目標	2023年度実績	達成率	評価
会社周辺ゴミ「ゼロ」活動	毎週金曜日	100%実施	○	○

10. 環境経営計画の取組結果とその評価

環境経営計画の取組み結果と評価

○できた △あまりできなかった(5%以下) ×できなかった(5%超)

	環境経営計画	結果	評価/次年度への取組み内容
二酸化炭素	電力使用量の削減 ・節電への表示 ※1 ・エアコン室温基準設定チェックによる管理徹底 ※2 ・休憩時・不必要の消灯 ・中間期(春・秋)の外気導入による空調電力低減 ・執務室集約化による電力使用量低減	○ 低減率 34.6%	＜評価＞ 執務室集約化による電力消費削減 特に空調200V 30%削減となった。 ＜次年度の取組み＞ 中長期アイテムの検討に合せ日常身近な省エネアイテムを優先に全員参加にて継続実施
	ガソリン使用量の削減 ・寄せ書き「マイ環境行動宣言」によるエコドライブ意識 ※3 ・モバイル機器の導入による業務用車の稼働率低減	○ 低減率 0.5%	＜評価＞ エコカー(1台)導入効果あり ＜今年度の取組み＞ ・エコカー化 中期更新切替え全17台中⇒10台更新 ・モバイル機器導入による業務用車稼働率低減
	軽油使用量の削減 産業車両使用時、エコドライブの推進	○ 低減率 1.3%	＜評価＞ 自社所有の産業車両の使用頻度が低減した。 産業車両をレンタルする際は電気車を積極的に利用し低減を行った。 ＜次年度の取組み＞ 産業車両をレンタルする際は電気使用を優先する
節水	水使用量の削減 ・節水表示による意識高揚 ・リモート会議、リモートワークによるトイレ等水使用量削減	○ 低減率 23.2%	＜環境目標達成＞ ・トイレ3台節水型に変更の継続(18年度～継続実施) ・リモート会議、リモートワークによりトイレ等水使用量低減
廃棄物	一般廃棄物削減 可燃物の分別・裏面使用と両面コピー化 紙のデータ化(コピー機1台撤去)	○ 低減率 32.0%	＜評価＞ ペーパーレス化の継続推進 ※紙を廃止し、電子化の推進を行った。
	産業廃棄物の削減 分別による廃棄物の低減活動  	○ 低減率 29.5%	＜次年度の取組み＞ 堤資材倉庫コンテナへの1回あたりの投棄量を1㎡以下に管理(法令遵守) (資材倉庫) 
環境配慮	工事現場周辺への環境配慮確認 ・工事施工の環境配慮確認 (騒音対策、使用車両のオイル漏れ) ・材料等運搬時の飛散防止対策の順守	○ 目標達成率 100.0%	＜環境目標達成＞ 継続遵守徹底
グリーン購入	グリーン購入品の採用 ・リサイクル用紙の積極活用 ・エコマーク商品リスト整備による積極的活用	○ 低減率 43.6%	＜環境目標達成＞ リサイクル用紙の購入定着
化学物質	化学物質の在庫量の適正管理 ・農薬・除草剤入庫記録の徹底 ・適正在庫管理 ・使用・管理に関する教育	○ 目標達成率 100%	＜環境目標達成＞ 入出庫・在庫管理の継続 SDS(安全データシート)の教育実施
その他	会社周辺ゴミゼロ活動	○	＜環境目標達成＞ 頻度: 毎週金曜日・参加者26名 エリア: 会社周辺・GLC・エディオン・しまむら駐車場

11. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

TBテクノグリーン 2024年度環境経営スローガン

「今一度基本に立ち返し、全員で取り組もう！EA活動！」
次世代に誇れる地球環境保全活動
「省エネ活動」をとことんまでやりぬこう！

・活動計画	2024年										2025年		
項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12		1	2	3
環境経営目標の提示	◆4/20(仮) ◆6/5(正式)												
活動の実施(PDCA)	実施										見直し・実施		
安全衛生環境委員会(報告)	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◇	◇	◇		◇	◇	◇
環境教育													
EA21事務局更新審査(10月)													

- 1)環境経営目標 ... ① CO2排出量('21年、'22年、'23年の3年間の平均▲2. 0%)
... ②廃棄物量:1%(受注量により増減)③水使用量:▲0. 5%

※2008年度のCO2総量に関しては親会社の環境ビジョンに基づき掲載しています、2018年度以降の数値に関しては中部電力ミライズの調整後排出係数(0.426kg-CO2/kWh)を使用しています。

(1)二酸化炭素排出量の削減

取組項目	基準年度 2008年度	実 績			単年目標	中期目標		
		2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	直近過去3年平均 2024年度	2025年度	2026年度	
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	115,142	54,378	51,368	50,207	二酸化炭素排出量▲2% kg-CO2 50,945	二酸化炭素排出量▲3% kg-CO2 50,425	二酸化炭素排出量▲4% kg-CO2 49,905	
		直近過去3年平均⇒ 51,984 45.1%						
電力(kwh・%) (係数0.426)	75,512 (係数0.474)	26,530	26,217	16,644	電力使用量▲2% (kwh・%) 22,668	電力使用量▲3% (kwh・%) 22,436	電力使用量▲4% (kwh・%) 22,205	
		直近過去3年平均⇒ 23,130 30.6%						
ガソリン(ℓ・%) (係数2.32)	27,096 (係数2.32)	18,251	16,848	18,138	ガソリン使用量▲2% (ℓ・%) 17,391	ガソリン使用量▲3% (ℓ・%) 17,213	ガソリン使用量▲4% (ℓ・%) 17,036	
		直近過去3年平均⇒ 17,746 65.5%						
軽油(ℓ・%) (係数2.58)	6,293 (係数 2.62)	317	431	402	軽油使用量▲2% (ℓ・%) 376	軽油使用量▲3% (ℓ・%) 372	軽油使用量▲4% (ℓ・%) 368	
		直近過去3年平均⇒ 383 6.1%						

※2008年度基準比%

(2)水使用量の削減

取組項目	基準年度 2008年度 基準100%比	実 績			単年目標	中期目標		
		2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	直近過去3年平均 2024年度	2025年度	2026年度	
水道使用量 (m3)	492.6	124.0	126.0	109.0	水道使用量▲0.5% (m3) 119.1	水道使用量▲1.0% (m3) 118.5	水道使用量▲1.5% (m3) 117.9	
		直近過去3年平均⇒ 119.7 24.3%						

(3)廃棄物排出量の削減

取組項目	基準年度 2008年度 基準100%比	実 績			単年目標	中期目標		
		2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	直近過去3年平均 2024年度	2025年度	2026年度	
一般廃棄物 (t)	1.33	0.76	0.43	0.45	一般廃棄物▲1% (t) 0.54	一般廃棄物▲1% (t) 0.54	一般廃棄物▲1% (t) 0.54	
		直近過去3年平均⇒ 0.55						
産業廃棄物 (t)	2818.4	1,266.3	1,486.0	1,024.0	産業廃棄物▲1% (t) 1246.2	産業廃棄物▲1% (t) 1,246.2	産業廃棄物▲1% (t) 1,246.2	
		直近過去3年平均⇒ 1,258.8 44.7%						

- 2)環境経営計画 ... 従来の経営計画を踏襲する

12. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟などの有無

該当	環境関連法規(該当事項)	内 容	確認
有	・騒音・振動規制法	・該当する工事の届出、規制値の遵守	遵守
有	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・産廃業者との契約締結、マニフェスト管理 ・水銀使用製品の管理	遵守 遵守
有	・建設リサイクル法	・分別解体の励行と再資源化	遵守
有	・アイドリングストップ条例 (愛知県条例)	・駐停車時のアイドリングストップ	遵守
有	・フロン排出抑制法	・フロン漏れ簡易点検の実施 ・フロン回収業者へ委託確認書兼引取証明書交付、回収	遵守
有	・農薬取締法	・除草剤、殺虫剤の適正管理	遵守
有	・労働安全衛生法	・危険有害性化学物質のリスクアセスメント ・SDS表示と教育	遵守 遵守

見直し日: 2023年4月1日 / 担当者: 村上

※以降 都度遵守事項確認 ⇒ 法改正なし

《総合評価》

- ・ 当社の環境関連法規制などの遵守状況の評価の結果違反はありません。 都度、該当項目実施
- ・ 過去5年遡っても、関係機関などからの違反の指摘や利害関係者からの訴訟などはありません

13. 代表者による全体評価と見直し・指示

代表者による全体の評価と見直し・指示

環境管理責任者による見直しに必要なコメント	作成者：環境管理責任者 樹神 義和
	作成日：2024年 9月 6日

1. 環境経営目標とその達成状況

※達成時：設定に問題が無かったか、次年度の目標設定に反映

※未達成時：原因と次年度の目標や対応策について記載

・親会社より「2050年環境ビジョン」の提示を踏まえた展開について

中長期取組み：2050年度CO2排出量ゼロチャレンジ2008年度基準とした中長期目標(77%)に対し、(43.6%)で目標クリア

詳細：執務室集約化による電力使用量34.6%低減、又省エネ日常管理のきめ細かい取り組みにより5.1%低減することとなった。

⇒次年度は、事業部の技術者増員計画に伴い、執務室を2箇所に分けることにより事務所電気使用量の増加が予想される為「電力量見える化」対策を実施し、社員一人ひとりに省エネの意識づけを行い活動を会社全体で愚直に進めいきたい。

・産業廃棄物排出量の3ヶ年平均(△1%)目標 1453.1tに対し、実績 1,024.0t (△29.5%)減

⇒ 工事受注予定の「解体工事の案件」が延期になった為、産廃排出量が減少した。

2. 環境経営計画の実施状況

・業務用車のエコカー化 切り替えについて

2023年度はエコカー更新1台(当初計画とおり) ⇒ ガソリン使用量 (△0.5%)低減

次年度は、エコカー1台更新予定 ⇒ ガソリン使用量 (△0.5%)低減を想定

・軽油量の(△1.3%)減

自社所有の産業車両の使用頻度が減少。又、産業車両をレンタルする際は電気式を積極的に利用し低減を行った。

・水使用量の3ヶ年平均 (△0.5%) 目標 142.0㎡に対し、実績109.0㎡ (△23.2%)低減

リモート会議、リモートワーク利用が増え会社の在席率が減り、トイレ及び給湯室の水使用量が減少した。

・再生可能エネルギーの有効活用について

太陽光発電の100V電力に余剰電力がある為、中長期目標を踏まえ余剰分を活かすことを検討。

(案)蓄電池導入し、夜間照明に使用 (EV車への充電に使用など・・・etc)

3. 環境関連法規の見直し・遵守状況

特になし

4. 審査結果情報

特になし

5. 外部からの苦情等の受付結果

特になし

6. 問題点の是正予防報告書

特になし

代表者による変更の必要性の判断	評価者：代表者 小川 雅司
	作成日： 2024 年 9月 13日

1. 環境経営方針の変更

有・☒無

2. 環境経営目標の変更

有・☒無

3. 活動経営計画の変更

有・☒無

4. 実施体制の変更

☒有・無

変更の理由 (詳細にわたる場合は別紙添付)

環境管理責任者の変更に伴う体制の変更。

環境管理責任者への指示事項

14